

巻頭の辞 / GREETING
もくじ / CONTENTS

宇田川 真之 UDAGAWA, Saneyuki.

災害伝承支援アプリケーションの研究開発とまち歩き学習での利用評価*	1
聴覚障害者むけ津波防災情報FAXテンプレート作成の取組みについて	15
災害時のリスクコミュニケーションに関する研究—南海トラフ巨大地震想定地域を対象に—その2	17
緊急避難行動における垂直避難の有効性についての研究 —平成25年度伊豆大島土砂災害を事例として—	19
平成27年度兵庫県民防災意識調査の結果について (概要)	23

照本 清峰 TERUMOTO, Kiyomine.

地震発生直後における小学生の対応行動の認識に関する規定要因	33
Effects of a Practical Tsunami Evacuation Drill	35
自動車利用を含めた津波避難ルール (案) に関する地域モデルの形成*	41
地方自治体職員の災害時応急業務の認識に関する分析*	49

斉藤 容子 SAITO, Yoko.

地域防災計画と関連計画における男女共同参画視点の具体化とその課題* —兵庫県内市町の地域防災計画見直し状況と三木市における取組みの一考察— Mainstreaming Gender Perspectives in Local Disaster Management Plan and Related Plans: A Study on the Current Situation of Cities and Towns in Hyogo and a Case Study from Miki City	57
---	----

高田 洋介 TAKADA, Yosuke.

ネパール地震におけるFMTの現状と課題* The Actual Condition of Foreign Medical Team on the Nepal Earthquake 2015	67
The Challenges of On-site Coordination of Medical Support in Disaster Settings*	69
国際的な災害救援に関する近年の動向と私たちの備え	71

古本 尚樹 FURUMOTO, Naoki.

2013年9月2日の竜巻被害における越谷市の対応について*	73
東日本大震災を契機に、災害対策での課題とその対応について* —多賀城市における事例から—	79
ノロウイルス発生で自治体の初期対応に関する聞き取り調査 —浜松市職員からの聞き取り—*	85
降雪に対する自治体対応について*	91
大規模災害被災地における保健師活動について 多賀城市における事例から*	99
原子力発電所立地地域の住民へ安全対策について 御前崎市役所における聞き取り調査から	105

菅野 拓 SUGANO, Taku.

東日本大震災の仮設住宅入居者の社会経済状況の変化と災害法制の適合性の検討* —被災1・3年後の仙台市みなし仮設住宅入居世帯調査の比較から—	109
社会問題への対応からみるサードセクターの形態と地域的展開* —東日本大震災の復興支援を事例として—	117
東日本大震災におけるサードセクターの実像と法人格*	141
支援者は地域創造の主体へと変わるのか	153
被災者支援と生活困窮者支援の相互作用—「しなやかな社会」づくりの最前線	179
東日本・被災復興に学ぶ減災社会へのヒント—必要な人に届かない支援、漏れのない制度の構築を	183
東日本大震災における復興財政の全体像—国および地方自治体の2011～2013年度決算から—	187

坪井 塑太郎 TSUBOI, Sataro.

統計情報の活用と地図化の技術支援—三大都市圏における水害を事例として— 191

テキストマイニングを用いた河川整備計画における住民意見の構造分析 195

中国における生活用水量と水道料金の推移に関する研究— 2005～2010年・環渤海経済圏を事例として—
A Study on the Change of Domestic water and water rates in CHINA — A case study of Bohai-rim Economic zone — 199

ネパール地震の被災状況と支援・復興課題に関する研究
A Study on Damage and Recovery Status of the NEPAL Earthquake 201

日本における洪水災害の地域特性に関する研究— 2001年～2010年を対象として— 203

中国・四川地震後の人口変化—県級市単位の分析—
The Demographic of after Wenchuan Earthquake based on County-Level city 205

ネパール地震における被災地の地域構造と復興課題に関する研究 209

オープンデータを用いた荒川下流域の地域構造と災害脆弱性の可視化 211

計量テキスト分析を用いた被災者の支援・要望に関する研究
— 2014年調査・宮城県気仙沼市の住宅再建に関する自由回答分析—
A Study on the demand of support by text mining analysis
— A case study of Free answer about Housing Reconstruction in Kesenuma 2014 survey 215

津波避難ビルとしての集合住宅の規模的特徴及び地域的傾向に関する研究*
Study on the Characteristic of the scale and the regional trend of the apartment house as TSUNAMI evacuation Building 219

透析センターとして運用する災害時医療支援浮体の GIS を活用した適地選定 225

災害時医療支援浮体の初期構造計画に関する基礎的研究 229

荒木 裕子 ARAKI, Yuko.

東日本大震災浸水地における災害危険区域の指定方法、緩和要件の違いとその要因 233

災害後の地域再建と安全について 235

石原 凌河 ISHIHARA, Ryoga.

災害遺構の保存に対する住民評価に関する研究*
—雲仙普賢岳の噴火災害遺構「旧大野木場小学校被災校舎」を事例として—
A Study on the Residents' Evaluation toward Preservation of Disaster Artifact — A Case Study of Volcanic
Eruption Disaster Remains of Mt. Unzen-Fugen, Former Onokoba Primary School Building — 243

Studying Intention to Preserve Disaster Relics and Their Actual Utilization 251

仮想評価法(CVM)による災害遺構の便益評価に関する研究
—雲仙普賢岳の噴火災害遺構「旧大野木場小学校被災校舎」を事例として—
A study on the benefit evaluation toward preserve building remains by CVM — Using Former Onokoba
Primary School buildings, volcanic eruption disaster relics of Mt. Unzen-Fugen, as an example — 255

災害遺構の保存を考えるための視点 257

地域知としての災害伝承の意義 259

ことばをめぐる実践と考察 267

山本 敦弘 YAMAMOTO, Atsuhiko.

平成27年度研究調査報告 277

木戸 崇之 KIDO, Takayuki.

伊賀上野地震で決壊した「奈良・古市村のため池」の位置推定
Estimating positions of “the reservoirs in Furuichi village, Nara” which collapsed in the Iga Ueno Earthquake 315

テレビにおける「避難情報の放送タイムラグ」等の問題～2014年・2015年の関西の事例をもとに～ 327

テレビの災害情報伝達の課題とデータ放送による改善策
Subjects on Disaster Information Transmission in Television and Their Improvement Through Data Broadcasting. 329

中核的研究プロジェクト

広域巨大災害における組織間連携方策のあり方に関する研究 333

巻末資料

Date 367

坪井 塑太郎

坪井塑太郎：統計情報の活用と地図化の技術—三大都市圏における水害を事例として—，日本パーソナルコンピュータ利用技術学会（島根大会）要旨集，p. 21-24，2015

坪井塑太郎：テキストマイニングを用いた河川整備計画における住民意見の構造分析，日本パーソナルコンピュータ利用技術学会（東京大会）要旨集，CD-ROM 収録，2015

坪井塑太郎：中国における生活用水量と水道料金の推移に関する研究—2005～2010年・環渤海経済圏を事例として—，日本地理学会・秋季学術大会（愛媛大学）要旨集，p. 64，2015

坪井塑太郎：ネパール地震の被災状況と支援・復興課題に関する研究，日本地理学会・春季学術大会（早稲田大学）要旨集，2016

坪井塑太郎：日本における洪水災害の地域特性に関する研究—2001年～2010年を対象として—，東京大学空間情報科学研究センター CSIS-DAYS，2015，p. 31，20015

坪井塑太郎：中国・四川地震後の人口変化—県級市単位の分析—，地理情報システム学会・学術研究発表会（慶應義塾大学），CD-ROM 収録，2015

坪井塑太郎：ネパール地震における被災地の地域構造と復興課題に関する研究，環境情報科学研究センター・学術研究発表会（日本大学），p. 19，2015

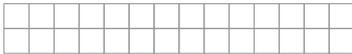
坪井塑太郎：オープンデータを用いた荒川下流木の地域構造と災害脆弱性の可視化，あらかわ学会・2015年次大会，p.18-21，2016

坪井塑太郎，中林一樹，小田切利栄，土屋依子：計量テキスト分析を用いた被災者の支援・要望に関する研究—2014年調査・宮城県気仙沼市の住宅再建に関する自由回答分析—，地域安全学会・気仙沼WS，p. 51-54，2015

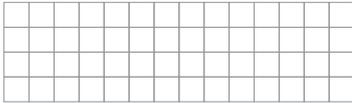
安彦智啓，畔柳昭雄，坪井塑太郎：津波避難ビルとしての集合住宅の規模的特徴及び地域的傾向に関する研究，日本建築学会技術報告集，p.21-48，p.859-864，2015

増田光一，恵藤浩朗，佐藤千昭，居駒知樹，中島麻悠美，清水 研，畔柳昭雄，小林昭男，登川幸生，坪井塑太郎，丹生勝久：透析センターとして運用する災害時医療支援浮体の GIS を活用した適地選定，日本沿岸域学会（茨城大学），CD-ROM 収録，2015

増田光一，恵藤浩朗，佐藤千昭，居駒知樹，中島麻悠美，清水 研，畔柳昭雄，小林昭男，登川幸生，坪井塑太郎，丹生勝久：災害時医療支援浮体の初期構造計画に関する基礎的研究，日本沿岸域学会（茨城大学），CD-ROM 収録，2015

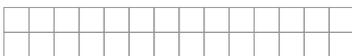


荒木 裕子

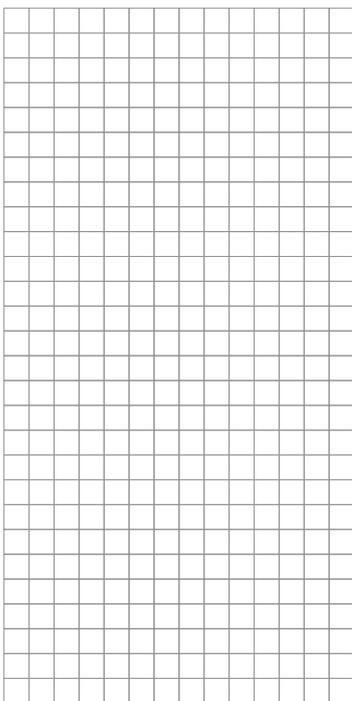


荒木裕子, 北後明彦: 東日本大震災浸水地における災害危険区域の指定方法, 緩和要件の違いとその要因, 日本建築学会大会学術講演梗概集, p. 291-292, 2015

荒木裕子: 災害後の地域再建と安全について, リスクデザイン研究センター, NPO 法人リスクデザイン研究所編, 「復興と居住地移動」, 関西学院大学出版会, p. 18-25, 2016



石原 凌河



石原凌河: 災害遺構の保存に対する住民評価に関する研究—雲仙普賢岳の噴火災害遺構「旧大野木場小学校被災校舎」を事例として—, 日本都市計画学会都市計画論文集 Vol.50, No.3, p.859-865, 2015

Ryoga ISHIHARA: Studying Intention to Preserve Disaster Relics and Their Actual Utilization, International Symposium on Urban Planning 2015 (日本都市計画学会), p. 173-176, 2015

石原凌河: 仮想評価法 (CVM) による災害遺構の便益評価に関する研究—雲仙普賢岳の噴火災害遺構「旧大野木場小学校被災校舎」を事例として—, 日本建築学会大会学術講演梗概集, p. 421-422, 2015

石原凌河: 災害遺構の保存を考えるための視点, NPO 法人西山卯三記念すまい・まちづくり文庫レター 2015 年冬号 No67, p.10-11, 2015

石原凌河: 地域知としての災害伝承の意義, リスクデザイン研究センター, NPO 法人リスクデザイン研究所編, 「復興と居住地移動」, 関西学院大学出版会, p. 53-58, 2016

渥美公秀, 石原凌河, 近藤誠司, 杉山高志, 住田功一, 高野尚子, 高森順子, 宮本匠, 矢守克也: ことばをめぐる実践と考察, 日本災害復興学会 学会誌『復興』第 15 号, p. 23-31, 2016

